

1 調査の目的

令和6年度から令和8年度を計画期間とする「第七期小平市障害福祉計画・第三期小平市障害児福祉計画」を令和5年度に策定するにあたり、計画策定に必要な基礎資料とするため、小平市内在住の障がいのある方々の日頃の生活状況や障害施策に対する意見や要望等を把握することを目的としています。

2 調査の設計

調査の種類	調査対象者	調査方法
A 身体障がい者	身体障害者手帳所持者から 1,617 人を無作為抽出	郵送による 配付・回収
B 知的障がい者	愛の手帳所持者から 413 人を無作為抽出	郵送による 配付・回収
C 精神障がい者	精神障害者保健福祉手帳所持者から 641 人を無作為抽出	郵送による 配付・回収
D 難病等の方	手帳を所持せず「小平市心身障害者福祉手当」を受給されている難病等の方から 329 人を無作為抽出	郵送による 配付・回収
E 発達障がいの方	対象者の把握が困難なため、障がい者支援課のほか、市内の公立小中学校・幼稚園・保育園・相談支援事業所・療育機関・健康センター・子ども家庭支援センターなどの関係機関等（約 100 か所）を通じて配付	各施設で配付 郵送による回収

3 実施期間

令和4年10月25日（火）から令和4年12月16日（金）

4 回収結果

	配付数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
A 身体障がい者	1,617	819	50.6%	819	50.6%
B 知的障がい者	413	198	47.9%	198	47.9%
C 精神障がい者	641	255	39.8%	255	39.8%
D 難病等の方	329	185	56.2%	185	56.2%
合計	3,000	1,457	48.6%	1,457	48.6%
E 発達障がいの方	—	42	—	42	—

5 報告書の見方

- ・ 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。
- ※本文中で「身体」は身体障がい者を、「知的」は知的障がい者を、「精神」は精神障がい者を、「難病」は難病等の方を、「発達」は発達障がいの方をそれぞれ示しています。
- ・ 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。
- ・ 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、もっとも高い割合のものを■、2番目に高い割合のものを■、3番目に高い割合のものを斜字にしています。（無回答を除く）
- ・ 回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。
- ・ 回答者数が1桁の場合、有効回答とはみなされず、コメント内では言及していないことがあります。